

献血にご協力をお願いします。

献血はご案内の施設のほか、毎日街頭などの献血バスでも実施しています。
献血バスの運行スケジュールに関しては<https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/>をご覧ください。

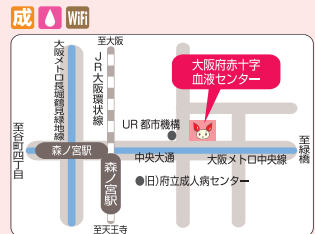
※献血バスは、全血献血のみ受付しています。※各施設のフリーダイヤルは、携帯電話からつながります。

① 大阪府赤十字血液センター

☎0120-326759

大阪市城東区森之宮2-4-43
JR大阪環状線・大阪メトロ中央線・長堀鶴見緑地線森ノ宮駅東へ350m

受付時間 9時～17時
(成分献血は16時30分まで
ただし、日曜日に限り15時まで)
休日 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。

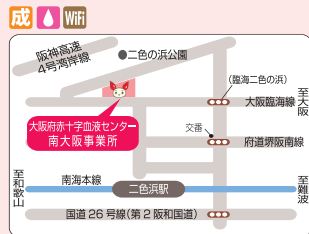


② 大阪府赤十字血液センター南大阪事業所

☎0120-736759

大阪府貝塚市沢356-1
南海本線二色浜駅下車 西へ徒歩15分

受付時間 9時～17時
(成分献血は15時まで)
開設日 土曜日
(祝日、年末年始は除く)



③ 阪急グランドビル25献血ルーム

☎0120-376759

大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル25階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで)
休日 年末年始



④ 西梅田献血ルーム

☎0120-316759

大阪市北区梅田2-2-2
ビルトンプラザウエスト
オフィスタワー10階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで)
休日 年末年始

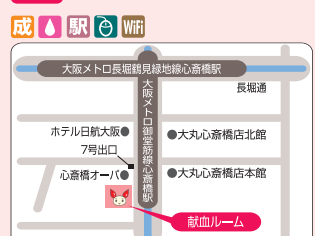


⑤ 御堂筋献血ルーム CROSS CAFÉ

☎0120-276759

大阪市中央区西心斎橋1-4-5
御堂筋ビル地下1階
大阪メトロ心斎橋駅7号出口より南へすぐ

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで)
休日 年末年始



⑥ まいどなんば献血ルーム

☎0120-296759

大阪市中央区難波4-4-4
難波御堂筋センタービル4階
大阪メトロ御堂筋線なんば駅10号出口直結

受付時間 10時30分～13時、14時～18時30分
(成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで)
休日 年末年始



⑦ あべの献血ルーム KiZooNa

☎0120-366759

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-3-21
岸本ビル3階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで)
休日 年末年始

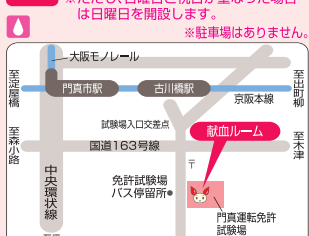


⑧ 門真献血ルーム

☎0120-356759

大阪府門真市一番町23-16
門真運転免許試験場 別館1階
京阪本線古川橋駅下車後、
京阪バス免許試験場、または徒歩約1.2km

受付時間 9時～12時、13時～16時30分
(全血献血のみ受付)
休日 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。
※駐車場はありません。

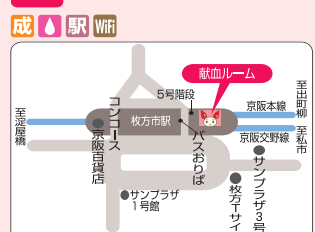


⑨ 京阪枚方市駅献血ルーム

☎0120-336759

大阪府枚方市岡東町19-1
京阪枚方市駅東口1階
5号階段横

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで)
休日 金曜日、第1・3日曜日、年末年始



⑩ 阪急茨木市駅献血ルーム

☎0120-346759

大阪府茨木市永代町1-5
阪急京都線茨木市駅
ロサヴィア1階東側

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで)
休日 水曜日、第3土曜日、第4日曜日、
年末年始



⑪ 堺東献血ルーム

☎0120-386759

大阪府堺市堺区北瓦町2-4-18
現代堺東駅前ビル5階
(旧りそな堺東ビル)

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで)
休日 木曜日、第3日曜日、年末年始



ルームの施設案内凡例

- 成分献血実施
- 全血献血実施
- 駅から近い
- 眺望良好
- パソコン設置
- WiFi設置



献血についてのご相談は

■ 大阪府赤十字血液センター ☎(06)6962-7654

☎0120-326759 (平日9:00～17:30)

※携帯電話からつながります。(一部のIP電話等からはつながらない場合があります)

みなさんのご協力をお待ちしています。

くわしいご案内はこちらから

大阪府内の各献血ルームの詳しい情報や献血バス運行スケジュールをご覧ください。

スマホ
パソコンから <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/>

大阪 血液 またはこちらからも検索できます。



祝！
成人おめでとうございます



このリーフレットをご持参のうえ、裏面に記載してある
大阪府内の献血会場にて献血にご協力いただいた
新成人の方に記念品を進呈致します。

真空ポケットボトル & ハンドタオルセット

※2021年2月28日まで。但し、記念品が無くなり次第終了します。
※他のキャンペーン等と重複できません。

※献血1日限り

小さな愛
も
大きな愛



Illustr & Design : リと

(大阪府赤十字血液センターより提供)

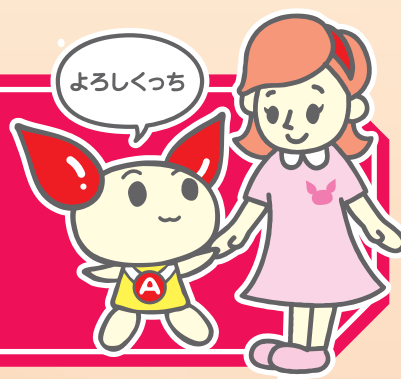


大阪府赤十字血液センター

日本赤十字社

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

成人を迎えられたみなさんに ぜひ知っていただきたいこと



～毎日一定量の「献血」が継続的に必要な理由～

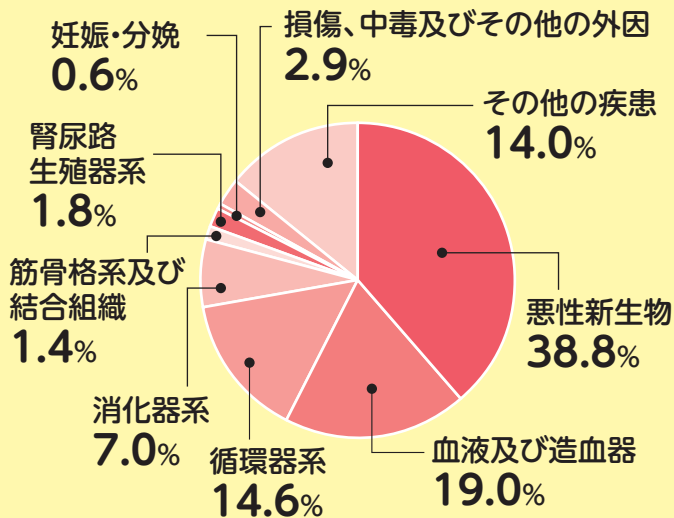
大阪府内では、毎日約1,100人分の献血が必要です。(400mL献血で約820人分、成分献血で約280人分)

血液センターでは、医療機関へ安定的に血液をお届けするために、必要量の3日分を確保できるよう努めています。

輸血用血液製剤は交通事故や手術での大量出血よりも、その多くは、がんや白血病など病気の治療のために定期的に使用されています。

また、輸血用血液製剤には有効期間があり、保存に限りがあります。一度に多くのみなさんから献血のご協力をいただくよりも、毎日継続した協力が必要になります。

●疾病別輸血状況 (平成30年 東京都保健福祉局調べ)



だから、継続した献血へのご協力が必要なのです。



ご存じでしたか？

輸血用血液製剤には有効期間があります。

血液は生きた細胞。だから採血された血液は成分ごとに有効期間が決められており、短いものは4日間です。

【血小板】
採血後4日間
保存温度 20～24℃
(振とう保存)



【赤血球】
採血後21日間
保存温度 2～6℃



【血しょう】
採血後1年間
保存温度 -20℃以下



採血基準

項目	献血の種類	全血献血	全血献血	成分献血	
		200mL 献血	400mL 献血	血しょう成分献血	血小板成分献血
1 回 献 血 量		200mL	400mL	600mL 以下 (循環血液量の12%以下)	
年 齢		16歳～69歳※1	男性 17歳 / 女性 18歳 ～69歳※1 男女とも50kg以上	18歳～69歳※1	18歳～ 男性 69歳※1 / 女性 54歳
体 重		男性 45kg以上 / 女性 40kg以上	男性 45kg 以上 / 女性 40kg 以上		
最 高 血 圧		90mmHg 以上 180mmHg 未満	90mmHg 以上 180mmHg 未満		
最 低 血 圧		50mmHg 以上 110mmHg 未満	50mmHg 以上 110mmHg 未満		
脈 拍		40回/分以上 100回/分以下	40回/分以上 100回/分以下		
体 温		37.5℃未満	37.5℃未満		
血 色 素 量		男性 12.5g/dL以上 / 女性 12g/dL以上	男性 13g/dL以上 / 女性 12.5g/dL以上	12g/dL以上 (赤血球数が標準値にある女性に11.5g/dL以上)	12g/dL以上
血 小 板 数		—	—	—	15 万 / μ L 以上
年間献血回数		男性 6 回以内 / 女性 4 回以内	男性 3 回以内 / 女性 2 回以内	血小板成分献血 1 回を 2 回分に換算して血しょう成分献血と合計で 24 回以内	
年間総献血量		※2	※2	—	

※1: 65 歳以上の方の献血については、60～64 歳の間に献血経験がある方に限られます。※2: 200mL 献血と 400mL 献血を合わせて男性 1,200mL 以内・女性 800mL 以内

献 血 の 間 隔

今回の献血	200mL 献血	400mL 献血	血しょう成分献血	血小板成分献血※
200mL 献血	男女とも 4週間後の同じ曜日から 献血できます	男性は 12 週間後、 女性は 16 週間後の 同じ曜日から献血できます	男女とも 2週間後の同じ曜日から 献血できます	
400mL 献血		男女とも 8週間後の同じ曜日から 献血できます		
血しょう成分献血				
血小板成分献血				

※血しょうを含まない場合には、1 週間後に血小板成分献血ができます。ただし、4 週間に 4 回献血した場合は、次回まで 4 週間以上あけてください。

※献血は通常、全血献血で 40 分程度、成分献血で 90 分程度かかります。

さらに現在の輸血、 献血状況は・・・

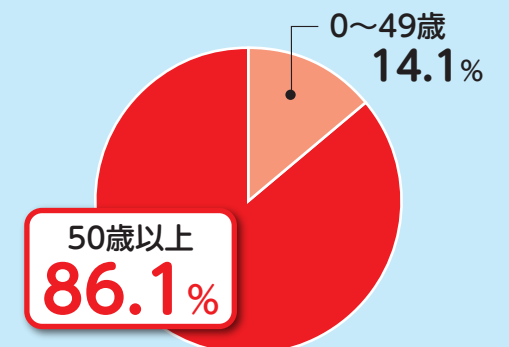


～少子高齢化の現状、みなさんに知ってほしい～

輸血用血液製剤の86.1%は50歳以上の患者さんに使用されています。この割合は高齢化と連動し、ますます増える傾向にあります。今後、輸血を必要とする患者さんが増えると、さらに多くの血液が必要となります。

一方、少子化が進み若い世代の方々が減少している日本。深刻なのは今、この若年層人口の減少率を上回る勢いで、若い人たちの献血協力が減少しているという事実。特に、10～30代の献血者は約20年前と比較するとなんと半分以上です。この状況のまま、もしくはさらに減少した中で、あなたが将来、もし輸血が必要になったときのことを、ちょっとだけ想像してみてください。

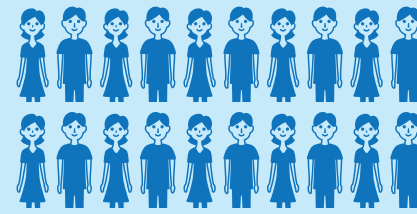
●年代別輸血状況



(東京都福祉保健局調べ)
※端数処理しているため、
合計が必ずしも100%にはならない。

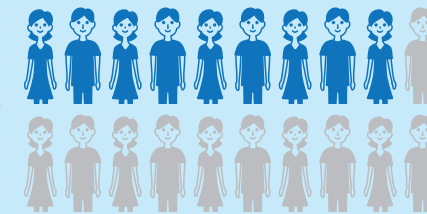
● 10代～30代の献血者数 (大阪府内)

平成9年度 311,585人



半分以上に減少

平成30年度 136,405人



科学や医療が発達した現在であっても、血液の成分全ては人工的につくることができません。やはり人間の血液＝「献血」が必要なのです。



患者さんにとってメリットが多い400mL献血・ 成分献血へのご協力をお願いします！

同じ血液型であっても、一人ひとりの血液は微妙に異なります。輸血の安全性をより高めるため、できるだけ少人数の方から得られた血液を患者さんに輸血することが望まれています。そのため、400mL献血・成分献血のご協力をお願いします。

800mLの
輸血に必要な
献血者数

400mL献血は、少ない献血者からの輸血を可能にし、輸血を受けられる患者さんの安全性を高めます。

400mL献血の場合



200mL献血の場合



軽い
患者さんの負担